

市立保育園の給食における「鮮度保持剤」の混入について

平成 28 年 11 月 9 日（水）、戸塚区舞岡保育園で園児に給食として提供した「白和え」に、食材の「すりゴマ」の商品袋に入っていた「鮮度保持剤」が混入し、園児 56 人（在籍 63 人）が喫食してしまいました。

1 概要

- (1) 日 時：平成 28 年 11 月 9 日（水）午前 11 時 50 分
- (2) 場 所：戸塚区舞岡保育園（戸塚区舞岡町 1956）
- (3) 状 況：「鮮度保持剤」が混入した「白和え」を園児 56 人が喫食

2 原因

職員が、食材の「すりゴマ」100 グラム分（1 袋 70 グラムを 2 袋使用）をボウルに出した際、1 つの袋から出た「鮮度保持剤」の存在に気づかず、他の食材と合わせて調理してしまった。

3 対象人数（喫食した人数）

1 歳児：6 人、2 歳児：8 人、3 歳児：14 人、4 歳児：13 人、5 歳児：15 人 計 56 人

4 経緯

- 平成 28 年 11 月 9 日 10 時 00 分 「白和え」の調理開始
- 同日 11 時 15 分 園児の給食開始
- 同日 11 時 50 分 職員が「白和え」の中に「鮮度保持剤」の破片の混入があることに気づく。同時刻に 4 歳児が同様に「白和え」の中に「鮮度保持剤」の破片の混入があることに気づく。
- 同日 13 時 00 分以降 「鮮度保持剤」の製造会社及び公益財団法人日本中毒情報センターに摂取しても人体への影響はない内容物（活性炭・ビタミン剤）であること、ビニール片は便とともに排出されることを確認
- 同日 16 時 00 分以降 園児の迎えに来られた保護者一人ひとりに対して、給食への「鮮度保持剤」の混入経過の説明、謝罪を行ったほか、体調不良があった場合は医療機関の受診と保育園への連絡について依頼
- (同日 19 時 00 分 現在までに、体調不良等を訴える園児はおりません。)

5 再発防止策

給食調理にあたっては、袋入りの食材は他の食材と混ぜ合わせる前にバットに広げ、鮮度保持剤、乾燥剤などのほか、異物の混入がないかを目視及び素手による接触確認を行います。また、鮮度保持剤や乾燥剤など、必ず同封しているものは袋の数と一致していることを確認のうえで廃棄することを調理職員に徹底します。

さらに、喫食時には、保育士がスプーン等で異物混入がないか確認することを徹底します。

お問合せ先
戸塚区こども家庭支援課学校連携・こども担当課長 繁野 芳彰 Tel 045-866-8334,8409